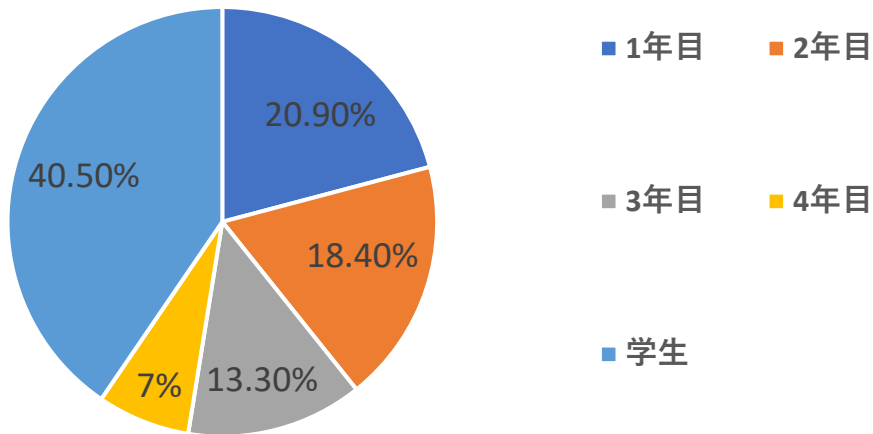


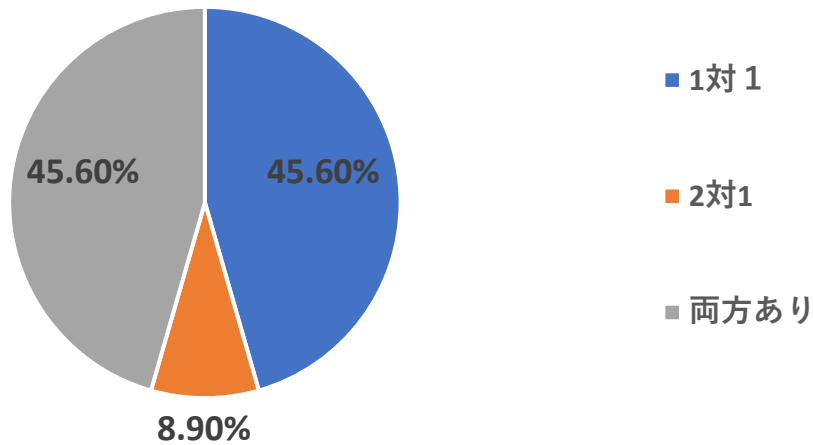
新カリキュラム アンケート結果

Q1 臨床経験年数は？



Q1	1年目	2年目	3年目	4年目	学生
	20.90%	18.40%	13.30%	7%	40.50%
N = 158	33	29	21	11	64

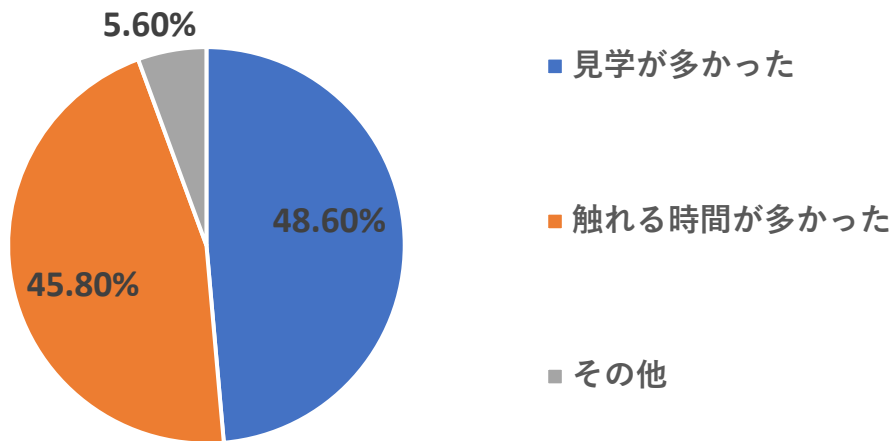
Q2 学生時の総合、評価臨床実習について



Q2	1対1	2対1	両方あり
	45.60%	8.90%	45.60%
N = 158	72	14	72

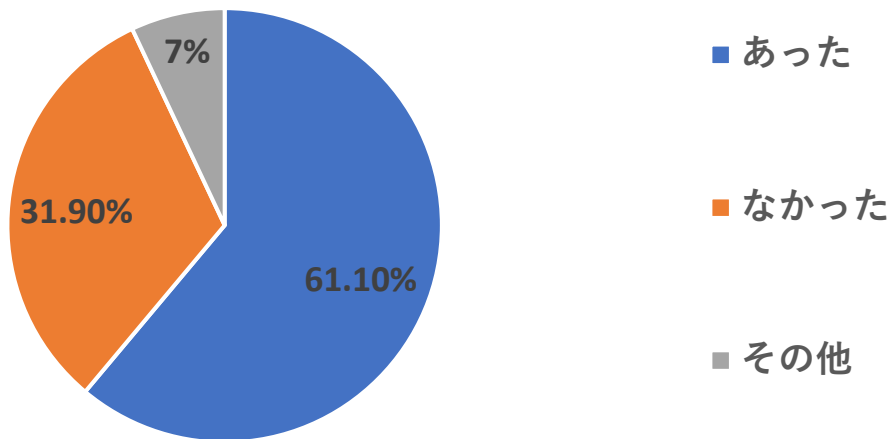
1対1のみを選択した方への質問

Q3 実習内容について



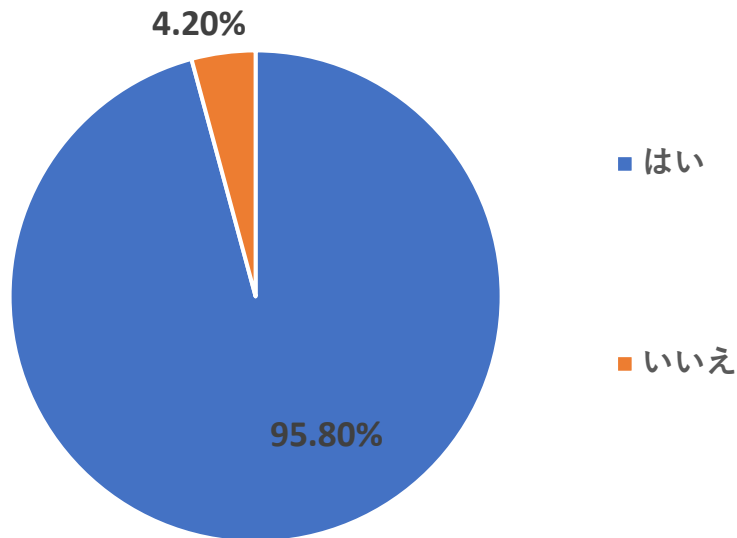
Q3	見学が多かった	触れる時間が多かった	その他
	48.60%	45.80%	5.60%
N = 72	35	33	4

Q4レポート等の学習課題について



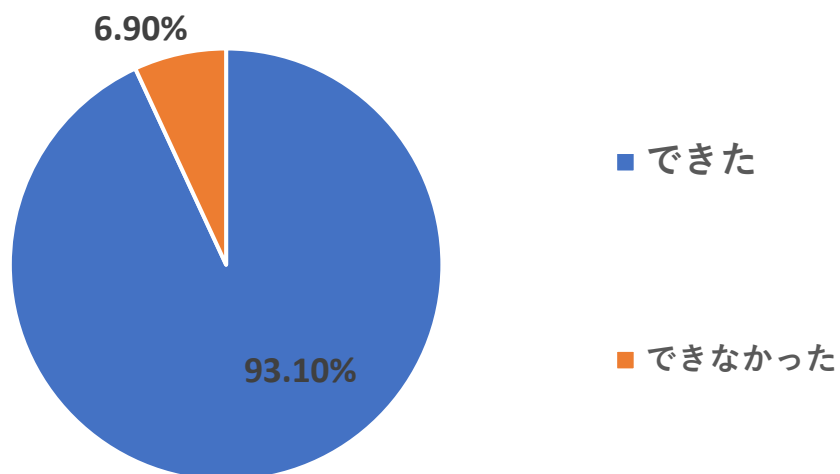
Q4	あった	なかった	その他
	61.10%	31.90%	7%
N = 72	44	23	5

Q5 週40-45時間以内の実習時間でしたか



Q5	はい	いいえ
	95.80%	4.20%
N=72	69	3

Q6 見学、参加、実施の順序立てて経験できましたか？



Q6	できた	できなかった
	93.10%	6.90%
N = 72	67	5

Q7.1対1の指導の「良かった点」を教えてください59件の回答

質問しやすい、話しやすい、相談しやすい。 25件

わからない部分の相談がしやすい。回復期では担当があまり変わらないので症例を詳しくしれる。聞きやすいのとしっかり見てもらえる感覚はありました。

同じ人なので関係性が気づきやすい。

自主勉強の時間が多かった。

患者一人一人に見れる。

指導者の方とリハの内容などをじっくり聞くことができる所。

詳しく知れた。

親身になってご指導いただきました。

個別的に教えて頂いた点。

アドバイザーが教える学生も自分1人のため、詳しく聞きたいことが聞ける。

細かく指導を受けることができた。

患者様のことだけでなく、他の就職の話や国試話もすることができ参考になる。

よくわかりません。

他の人を気にせず気になることを聞ける点がよかったと思う。

じっくり教えていただける。

マンツーマンで詳しく、理解するまでご指導頂ける。先生との仲が深まり、質問しやすくなる。

分からない事やできてない事をすぐに聞けるし、丁寧に教えてもらえるのでそこが良かった。

患者さんに対する情報収集やリスク管理、理学療法の展開の考え方からやり方まで詳細に教えて頂いた点。

質問があったりしたらすぐできるし個人的な指導を受けることができる所。

ペアが居ない分、自分が気になったことを気軽に質問できた。見学の際、じっくりと見ることが出来た。

見学や実施に集中出来る。

指導者の方との交流も行いやすかった。

学生が空気になることなく、先生からもしっかり指導していただき、学生自身も指示されたことは

もちろん、気づいたことは行えるようになったりお互いどのような状況か把握できる。

緊張が少ない。

1対1だった為指導者に質問をしやすかった わからないところがあったらすぐ聞くことができる。

環境が良かった点でした。

その人について深く知ることができて、臨床でも生かしている。

バイザーとのやりとりの時間が増える点。

1人のセラピストのみだったので、臨床思考が一貫していて、わかりやすかった。

信頼関係が築きやすかった。

統合と解釈や評価痔などしっかり見てもらえてると感じる。

一つ一つの質問に対して丁寧なご指導を頂ける。

マンツーマンで行うことで、分からないことをしっかり聞くことができた。

指導者の意見にバラツキがない。

Q8.1対1の指導の「悪かった点」を教えてください55件の回答

特になし。 他12件

臨床教育者との相性が合わない時が最悪。 × 6

基本的に悪いことはないが他の人の考え方も参考にできると知識や技術の幅も広がると思う。

症例数は数多く経験できない。 × 4件

分からないことを質問する時間がありますがわからないことが分からない。といった現象や 圧を感じるような時もありました。 気疲れはありますが仕方ないかと思えます。

1人の視点の話しか聞けない。 × 3

他の先生の考えを聞く機会が少ない。

相談ができなかった。 × 4

指導者の方によっては業務によってフィールドバックが遅くなる点がある点。

担当セラピストの方の業務量は増えて大変そうだった。

その人のみの考え方や方法しか聞けないので他の人の考え方や方法を知りたい時はありました。

プログラムを組む時気軽に聞ける相手がいらない点。

心細く、緊張しやすくなること。 後々、見学内容について生徒間で確認することが出来ない。

知識を多くもらえる人が1人しか居ないこと。

バイザーの方の患者さんしか見れない。

友達の方が聞きやすい内容の質問があった時は困った。

その人に合ったやり方や特有の方法で実習を進めていくため、応用があまり出来なかった。

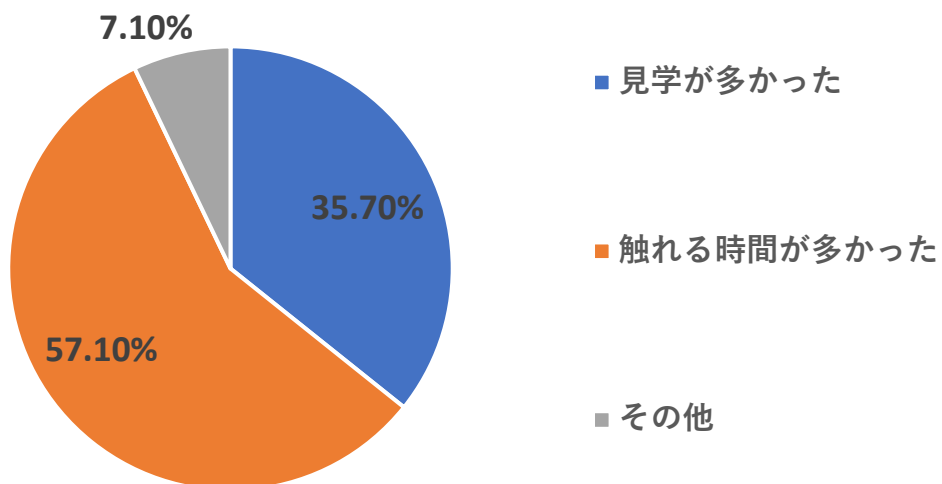
他スタッフとの交流が少ないため、意見が聞きづらい。 × 2

指導者の方は実習生の対応以外にも通常業務があるため忙しい時に話しかけづらい。

助けを求められるひとがいなかった。

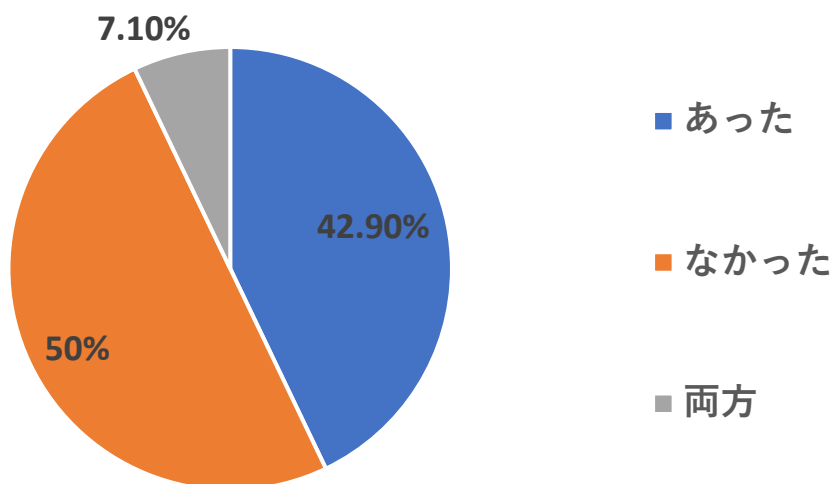
2対1の指導のみを選択した方への質問

Q3 実習内容について



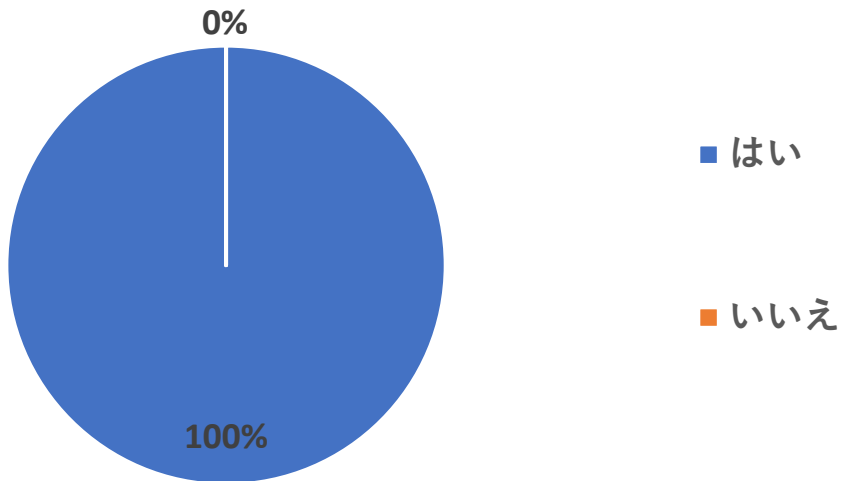
Q3	見学が多かった	触れる時間が多かった	その他
	35.70%	57.10%	7.10%
N = 14	5	8	1

Q4 レポート等の学習課題について



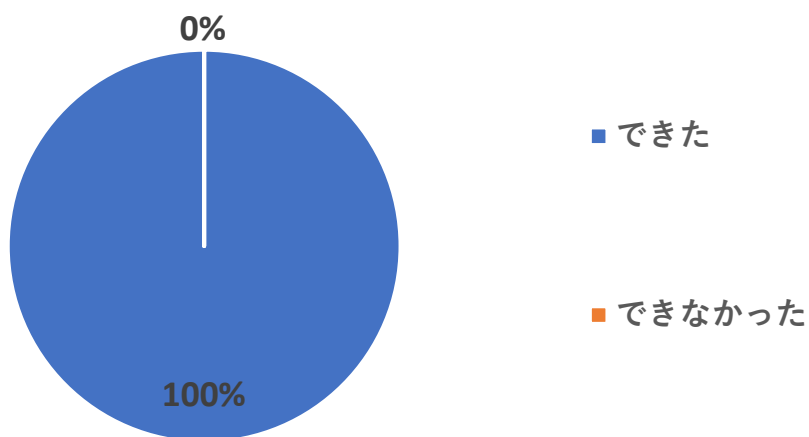
Q4	あった	なかった	両方
	42.90%	50%	7.10%
N = 14	6	7	1

Q5 週40から45時間以内の実習でしたか？



Q5	はい	いいえ
	100%	0%
N=14	14	0

Q6 見学、参加、実施の順序立てて経験できましたか？



Q6	できた	できなかった
	100%	0%
N=14	14	0

Q7.2対1の指導の「良かった点」を教えてください14件の回答

様々な考え方を知ることが出来た。×4件

指導が良かった。

相談を行いながら実施できた。

聞きやすい、話しやすいと思った指導者の方に自分の素直な意見を伝えやすかった。

1人だとわからないことも2人で考えて取り組むことが出来るからいいと思う。

友人と知識を出しあいながらできた。

特になし。×2件

生徒が2人いたのでわからないことを教えてもらった。

もう片方の実習生にアウトプットして理解出来るようにしてくれていた。理解出来ていないことも教え合いができた。

もう1人の学生と話し合いながら評価、参加、実施まですることができたので、知識の共有をすることができわからないことがあっても安心して実習に取り組むことができた。

わからないことがあったりするときに相談できる、評価を行う際記録を任せることができる。

Q8.2対1の指導の「悪かった点」を教えてください11件の回答

特になし。×2

意見が別れている際にどちらが正しいか分からなかった。

考え方が違うのでどちらの考え方で進めていいか悩んだ。

片方ばかりが経験してしまうことがある。

体格が違いすぎて練習にならない。お互いが動こうとしてストレス溜まる。2人いるとストレス溜まる。

バイザーの先生が大変そうだった。

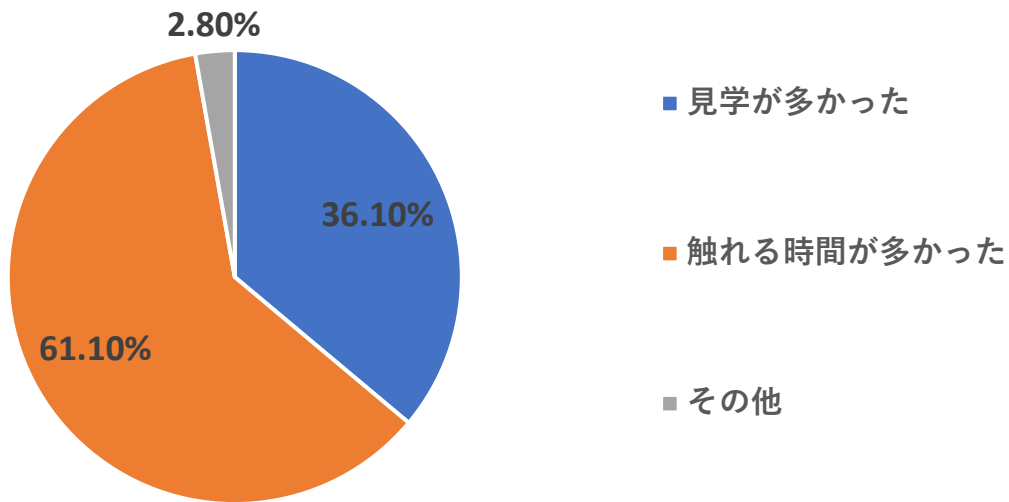
担当患者を分けられて触れる時間に差があった。

知識量の違いや、コミュニケーション能力の違いにより担当バイザーとの意見交換をすることができなかった。

患者様に触れなかつたりすることがでてくる。

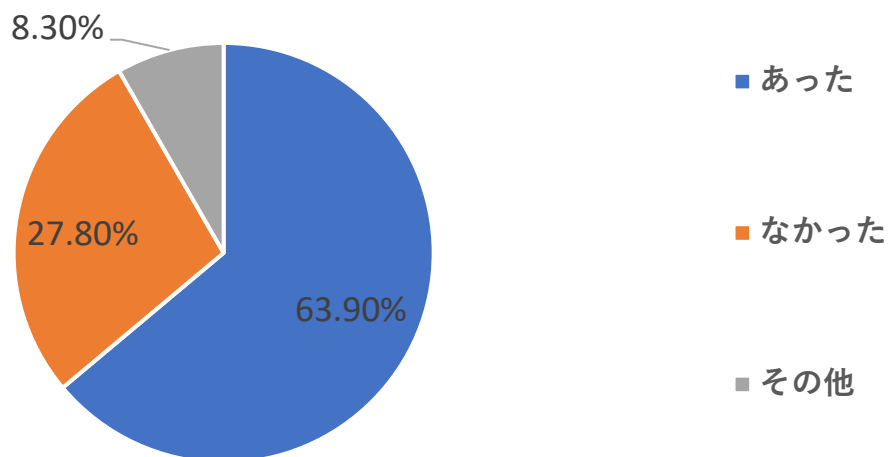
両方経験を選択された方への質問

Q3 実習内容について



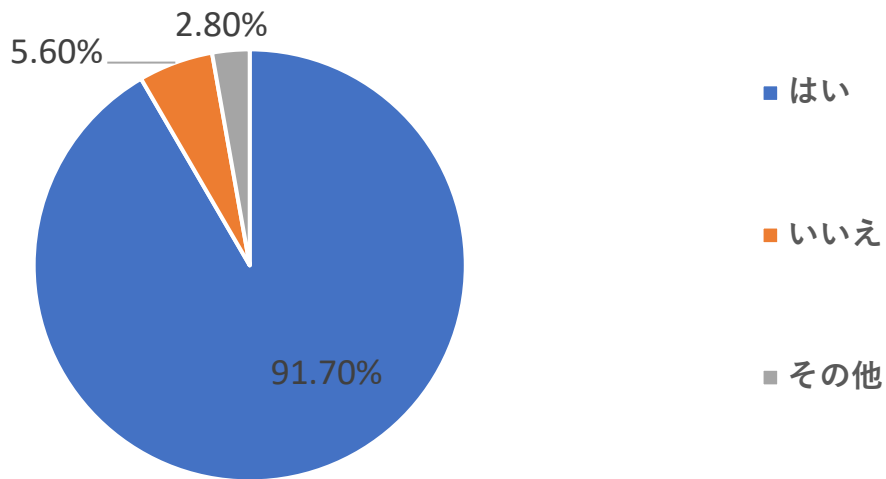
Q3	見学が多かった	触れる時間が多かった	その他
	36.10%	61.10%	2.80%
N=72	26	44	2

Q4 レポート等の学習課題について



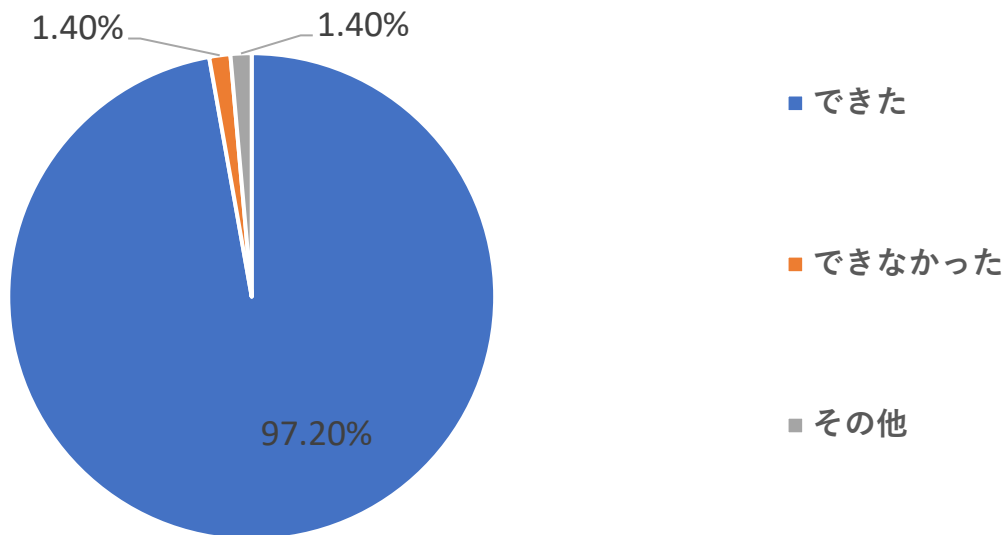
Q4	あった	なかった	その他
	63.90%	27.80%	8.30%
N=72	46	20	6

Q5 週40から45時間の実習時間でしたか？



Q5	はい	いいえ	その他
	91.70%	5.60%	2.80%
N=72	66	4	2

Q6 見学、参加、実施の順序立てて経験できましたか？



Q6	できた	できなかった	その他
	97.20%	1.40%	1.40%
N=72	70	1	1

Q7-1. 1対1の指導の「良かった点」を教えてください54件の回答

質問しやすい。×16件

指導が丁寧であり、その場での質問も行いやすかったのは良い点だと感じました。

1人の患者様を長くみることができた。

個別指導なので、細かく教えていただける。×5

患者さんに触れる時間が多かった。

担当バイザーのスケジュールだけに合わせて動ける。提出書類の訂正等は担当者から受けるだけでいいので意見が散在しにくく進行しやすい。

バイザーと密になり話し合えること。

しっかりと最後まで教えてくれた。

説明などをしっかりしていただける。

集中して見学ができた。

実習時間を自分の質問の時間に大いに使えた点。

自分のわからないところをすぐに聞くことができた。

バイザーの先生と一対一なので自分の意見をしっかり伝えることができる。

ディスカッションが取りやすかった。

自分のペースで行えた。×3

自分の学習ペースに沿った実習計画をたてていただけること。

1人で時間を使えるので、多くのことを経験することができる。

先生がしっかり指導して下さる。

しっかり向き合ってもらえる。

理解できないところ、深掘りしたいことなどに対して個別に対応して頂ける時間が多く、学習する機会も多かった。

真摯に向き合ってくれ、自分のことをよく考えてもらったこと。

見学や実施をスムーズにできる。

自分がしたい評価や運動療法を可能な限りで行うことができた。

たくさんの体験を受けることが出来る。

付きっきりで見せてもらえて実施させていただけるので分からないことをその時に質問し、解決が出来ること。

没頭できる。

気になったことやアセスメントがしやすい。

自分の分からないところを教えてくれる。

フィードバックがしっかりできること。

見学や実施の予定が組みやすい。指導時間が長く取れる。

Q7-2. 1対1の指導の「悪かった点」を教えてください49件の回答

特になし。×11

質問しにくい。過度に緊張する。話せる相手がいない不安感。×3

治療アプローチの選択の幅が2対1に比べて狭い。

性格が合わない担当バイザーだと実習がしにくい。バイザーの評価法や触診法に合わせなければならない。指導者と馬が合わないと大変。

指導してくださるセラピストの方と性格が合わなかった場合コミュニケーションのとり方に悩み気を使うことが多かった。

学生だから自分の考えが正しいか不安になることが多かった点。

客観的に見れない。

自分の考えをぶつけ合う相手がいないのでいきなり指導者の先生と話すと頭の中が整理出来ない。

1人だとアウトプットがあまりないところ。

情報共有して相談がしづらいこと。

意見を交換する相手がおらず、指導者の時間を削ってしまう場合がある。

施術中にはなすことができない。

聞きづらい部分は聞きにくい。

指導者の意見に固執してしまう点です。

指導者に似た考えが多くなる。その他のセラピストとの交流が限られる。

Q8-1. 2対1の指導の「良かった点」を教えてください51件の回答

意見交換がしやすい。新しい発見ができる。

色々な治療プログラムや、立案などの視野が広がる。

他の人と協力してできた。

一緒に考えながら介入できる。

ペアの学生と患者さんについて話し合いながら学ぶことができた。

沢山の意見を得やすい。

二人の症例をみれる。

実習について悩んだりした際にもう1人の実習生に相談することができ精神的な負担が少なかった。

困ったことをお互いで相談しやすかったり、検査などの練習で内容の共有が簡単にできた。

たくさんの意見を聞くことができたからよかった。×2

2人の考え方がわかる。

2人で話し合いが出来る。×8

生徒同士の意見交換が出来た。

両方の指導者に相談しやすい。

質問をしやすい。

様々な症例に対するアプローチを知識や技術を含めて見学する事ができた。

自分と友達との意見を照らし合わせて話し合い、質問等ができた点。

多くの知識を得ることができた。

友達とアウトプットができる。

安心して取り組める点です。

特にありません。×3

違う考えて方で別々の視点を持ち、話し合いながら実習を進めることができる。

2人でディスカッションしてアウトプットができるところ。先生とも3人でしっかりききたいことを聞けるところ。

自分には無い考えを共有しながら、指導者とディスカッションすることが出来た為、効率的だったと思う。

1対1の良きより幅広い考えができる。

他の生徒同士で意見交換やわからないところなどの教え合いができた。

相手との勉強や実習への意欲が合えば一緒に教え合いながら、高めあっていけること。

同じ内容を会話する相手がいるので互いに高め合いができる。

質問しやすい。

友達と話し合える。

もう1人の生徒の考えややり方を見ることが出来る。分からないことの共有ができる。

偏った教え方がない。

さまざまな視点からのアドバイスをいただけたことが良かった点です。

知識の補填。

学生間で相談しながら実習を進めることができたのでいろんな考えを知ることができた。

1人が外来担当の方でもう1人が入院担当のセラピストさんであったためさん様々な疾患の患者さんについて学べる機会となった。

Q8-2. 2対1の指導の「悪かった点」を教えてください50件の回答

特になし。×7

比較される。×5

比較されたり、もう1人の実習生の態度次第で自分の評価までさがってしまう。

1人の患者様に対し考え方が違った場合にどう対応したらいいのかわからなかった。

どうしても患者さんに触れる時間が半分になる。

評価や治療技術の細かい修正が無かった。

患者さんに触れる機会が1対1の実習より少なかった。

バイザー同士の意見が違くと進行しづらい。

二人の症例検討大変。

もう1人の実習生の担当の患者に介入しているときは見学がメインになって

しまうため、何もできない時間が少しあった。

指導者側のモチベーションによってどちらの学生にしたいかなどがわかりやすい場面も見られた。

それぞれの指導者によって言う事が違う点。

患者様に触れる時間が少なくなる。

質問がやりにくかった。

学力に差があると相手のことを気遣って話さないといけないので自分の話したいことを

指導者と話しにくい。

もう1人の実習生と自分を比べて落ち込むことがありました。

何となくやりずらかった。

1人が何かを行なっている際、もう1人が何もできない場面が見受けられる。2人で時間を使うので1人が実施できる時間が少ない。

人と比べてしまって落ち込む事もある。

少し疲れる。

質問しようと思っても相手に気を遣いすぎてやりにくかったし1人の方が気楽だった。

勉強や実習への意欲に差がある場合、自分のやる気が削がれる。また、意欲がある方への負担も大きくなるため自分には合わなかった、実習への協同参加の機会も1対1に比べると少なくなる事。

他学校の生徒で交流もなかったため気を使ってあまり実施ができなかった。

もう1人の人に気を使う。

気が散る。

プレッシャーが強い。

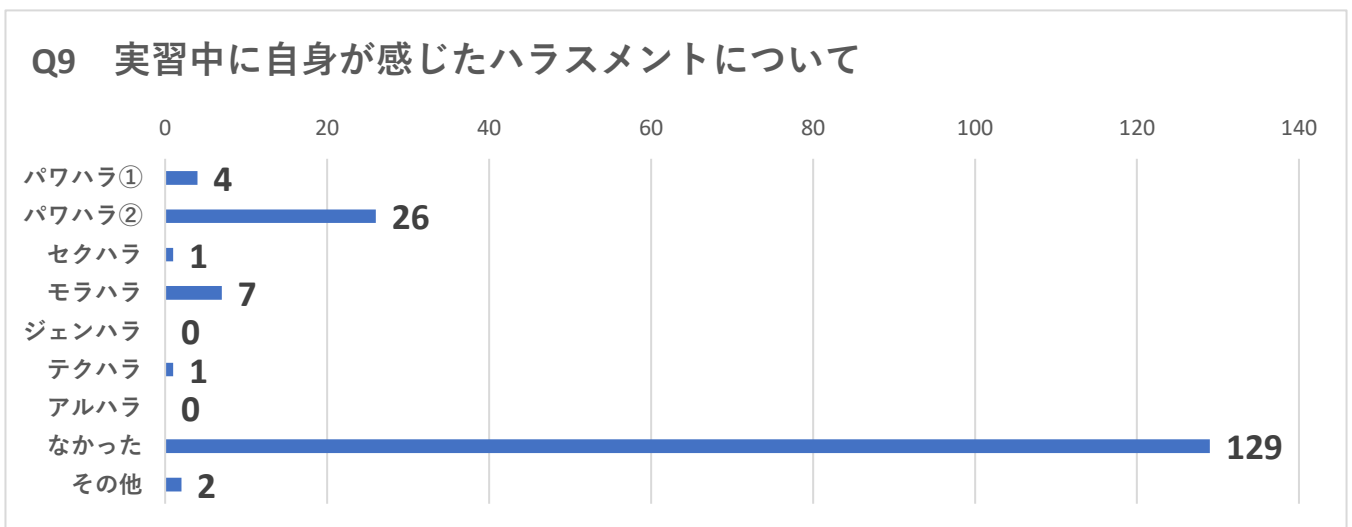
2人分のフィードバックにより時間が長くなる事。

一対一と違い情報量が多くなってしまう点です。

フィードバックの時間が1人当たり短くなる。

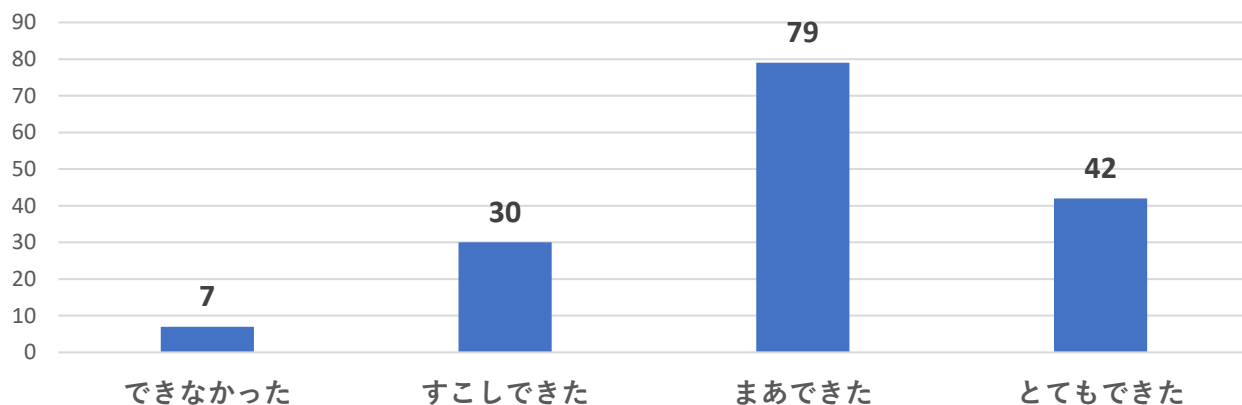
指導者2人の意見が違った時に戸惑う。

1人に頼ってしまう。



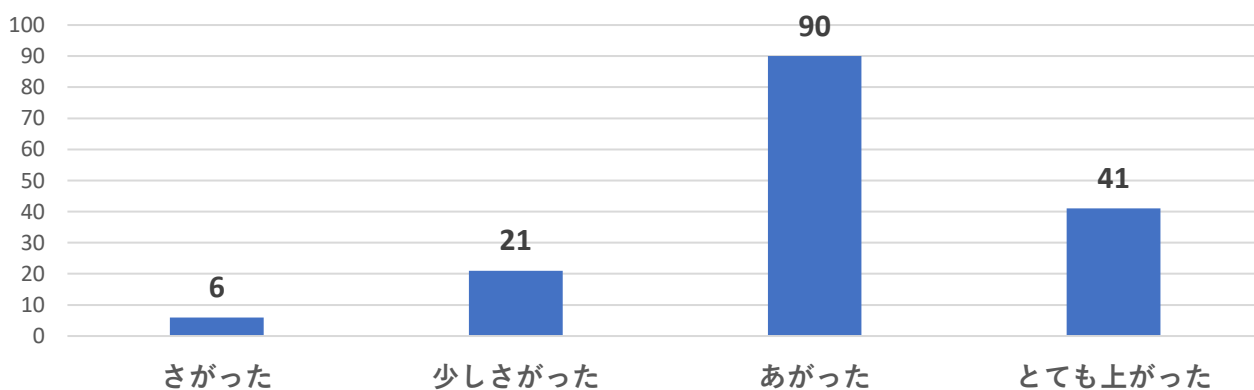
Q9	パワハラ①	4
複数回答	パワハラ②	26
N = 158	セクハラ	1
	モラハラ	7
	ジェンハラ	0
	テクハラ	1
	アルハラ	0
	なかった	129
	その他	2

**Q10 指導者とのコミュニケーションに関して、
疑問や悩みを共有できていましたか？**



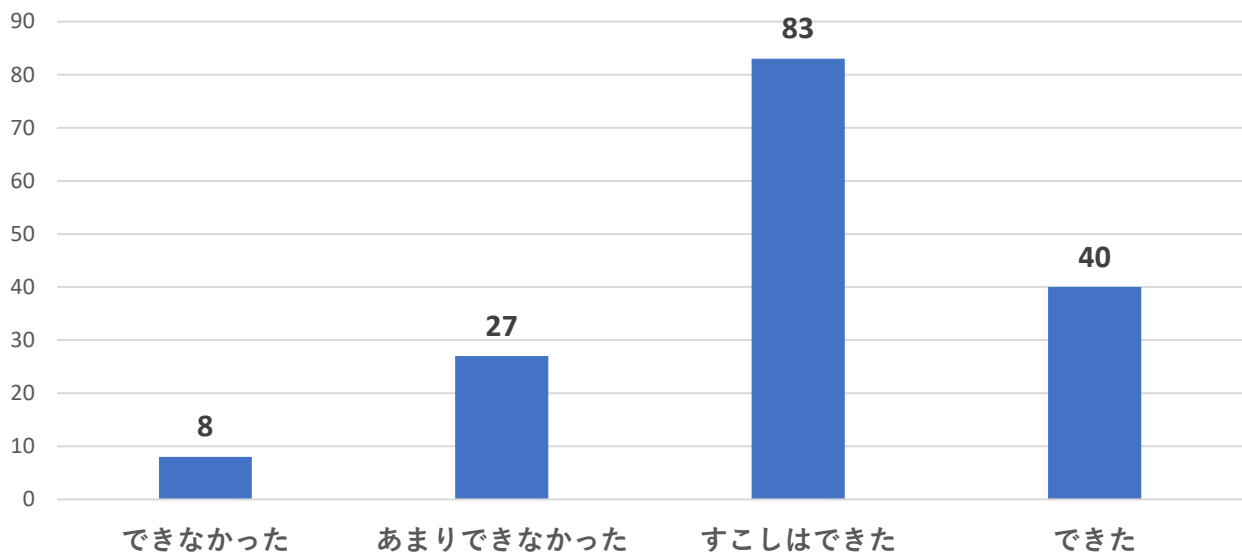
Q10	できなかった	7
N=158	すこしできた	30
	まあできた	79
	とてもできた	42

**Q11 臨床実習を通じてPTになることについて
モチベーションはどうでしたか？**



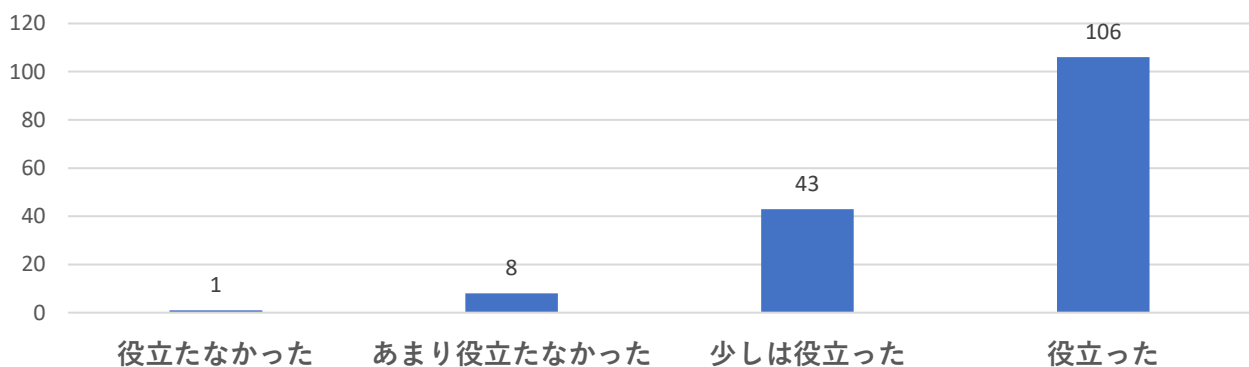
Q11	さがった	6
N=158	少しさがった	21
	あがった	90
	とても上がった	41

Q12 臨床実習にて将来のPT像はイメージできましたか？



Q12	できなかった	8
N=158	あまりできなかった	27
	すこしはできた	83
	できた	40

Q13 あなたにとって臨床実習は役立ちましたか？



Q13	役立たなかった	1
N=158	あまり役立たなかった	8
	少しは役立った	43
	役立った	106